

令和3年度

2号 トトモニ

しおじり協働通信
令和3年度
ご自由にお持ちください



特集 「あの人とともに」

たのめの里を広め隊

来て、見て、好きになつて

しおじりまちづくりフェスティバル2021

TAKE
FREE

2号

しおじり協働通信トトモニ 令和3年度 第2号

市民のみなさんへ お知らせ

しおじりまちづくりフェスティバル2021 ご案内



市民活動団体の情報発信と交流の場として開催する「しおじりまちづくりフェスティバル」。

各団体の楽しい催しを体験しながら、気軽にまちづくりに参加するきっかけにしてください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場を限定して、対策をとりながら開催します。

日 時：11月20日(土) 午前10時から午後3時まで

会 場：市民交流センター3階

※新型コロナウイルス感染症の対策のため、必ず、えんぱーく3階にあるフェスティバル会場入口からご入場いただき、受付を済ませるようにしてください。ご協力をよろしくお願ひいたします。

※当日の検温、マスクの着用にもご協力ください。

- 手作り商品
雑貨の販売
- 地元の
野菜の販売
- おもちゃ広場
- 自然物で
簡単工作
- 苔テラリウム
販売
- 天然石などで
ストラップづくり
- 紙芝居上演
- 起立性調節障害
冊子販売
- シュワボム
販売 等々
- 有料のブースも
あります。

まちづくりパネル展示

主に塩尻市内でまちづくりにかかわる約20団体の活動の様子を紹介したパネル展示を行います。ぜひご覧ください。



10月25日～11月7日 えんてらす1階
10月25日～11月8日 広丘駅改札前コンコース2階
11月8日～11月19日 えんぱーく1階
および、ウイングロード1階

主催：
塩尻市市民交流センター

企画運営：
特定非営利活動法人えんのわ

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を変更または中止する場合があります。

本誌に関する

お問合せ先

発行 塩尻市市民交流センター 市民活動支援係

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350 (内線4221)

E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp <http://enpark.info/>

編集 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320

E-mail:ennowa@hotmail.co.jp <http://ennowa.naganoblog.jp/>

たのめの里を広め隊 来て、見て、好きになつて

「(この)地域のことをもっと知つて欲しいし、私たちももっと知りたいんです」と塩尻市北小野と辰野町小野をまたがる「たのめの里」への思いを語ってくれたのは、たのめの里を広め隊 代表の三枝実生予さんです。

2019年に塩尻青年会議所が中心となって開催した「たのめの里フォトコンペティション大会」を続けるため、実行委員会を結成し、有志のメンバーが集まりました。ところが、昨年は新型コロナウィルス感染症の影響で、イベントは中止。今年も日程変更をしたり、開催内容を縮小したりしたもののイベントを開催することができました。10月3日に開催した「あましょ！たのめの里2021」と題したイベントに、市内外から14組



「塩尻市に住んでいても、たのめの里を知らない人がまだいる」という状況をなんとか変えていくたいと広め隊のメンバーは何度も話し合いを重ねてきました。「この会のみなさんが楽しそうだった」とした。



お気軽にご連絡ください

- 一緒にたのめの里を広める活動をしたい方
- たのめの里について知りたい方
- 今後のイベントなど広め隊の活動に興味のある方

ご連絡は代表の三枝実生子さんまで

✉ tanome.hirometai@gmail.com



「フリー・コミュニティースペース」をご活用ください!

「フリー・コミュニティースペース」は、市民や地域の利益（公益）につながる活動を行っている市民団体のためのスペースです。団体登録することで、スペースを予約し、優先して利用することができます。活動するスペースにお困りの市民活動団体の皆さんには、ぜひご活用ください。

●場所：市民交流センター 2階

※予約がない場合、一般利用者に開放する場合があります。

※利用方法などの詳細は市民交流センターにお問い合わせください。



49名の親子が参加しました。参加者は広め隊のメンバーが手作りをした地図と謎が書かれた紙を持つて、神社や図書館、マレットゴルフ場などを歩き、謎解きに挑戦しました。例えば、図書館では、「(この)図書館を口ヶ地にした竹内結子主演の映画は何かな?」という謎が。コースが3つに分かれていって、参加者が自分たちの歩く距離を選ぶことも可能。ちなみに、吉田尾記念館では、ブドウの

フレーズもあつました。参加者は「初めてこの地域を歩きました。また来年も参加したいです」という嬉しい声が寄せられました。